



## カナダ短期留学報告

NO.86

7月6日よりようやく一斉登校が始まりました。昨年度末から異例尽くめの事態が続く中で学校で授業を受ける、部活をする、友達としゃべるといった当たり前のことがどれだけ有難いことだったかを生徒諸君も痛感しているのではないのでしょうか。グローバル通信も例年より3カ月遅れの発行となります。どうか今年度も引き続きご愛読のほどよろしくお願い致します。

だいぶ日が経ってしまいましたが、今年の1月から3月にかけて実施されたカナダ短期留学に現在の高校2年生が5名参加し、3月15日に帰国しました。5名はトロント近郊の2校に分かれてホームステイをしながら通学しました。そのレポートを数回に分けて掲載します。3月段階では休校期間があれだけ続く予想は全くしていなかったため、今から思うと予定通りのプログラムをぎりぎりのタイミングでこなすことができ本当によかったと思っております。残念ながら感染終息の目途が立たないために今年度のカナダ留学プログラムは中止となります。

### カナダ留学を終えて

高校2年8組 小川洋生

留学プログラムを終え、ホストファミリーやカナダの友達からお別れのメッセージが届いたときに、カナダとの別れを実感して思わず泣いてしまったことがあった。このカナダでの生活は一生の思い出として私の心にくっきり刻まれたと断言できる。

留学生活で感じたことのうちの1つは、カナダはとても自由な場所だということだ。例えば授業中にスマホをいじったり音楽を聴いたりしてもいい、ランチタイムに学校外に出て食事をとってもいい、授業に遅れて入っても何も言われない、など色々ある。特に驚いたのは、授業で受ける科目を自由に選択でき、その選択肢も多種多様であるということだ。演劇、ダンス、車の修理などこちらでは考えられない科目もたくさんある。そして、その自由さがカナダ人たちの多様性を生み出していると考える。とてもうるさい人、くせの強い人、ずっとイヤホンしてる人、変な服装の人と、カナダ人にはほんとに様々な個性の人がいた。しかしみんな自信を持って自分を突き通してるようにも感じて、すごいと思った。



もう1つは、単純に英語の楽しさを学んだ。母国語でない言葉を日本人でない人に使うのは時に不安を伴う。例えば *A piece of cake!* と言えば、本当に日本語で言う「楽勝だよ!」を表現できるのだろうか。そして実際に使ってみてそれが通じると、この *A piece of cake!* という表現にある種の信頼が生まれる。自分が学校で、テストのためだけに頭に詰め込んだ単語やフレーズが、実際に使えると分かったそれはもう単なる知識を超えて自分の身を助けるツールとなるのだ。私は家で暇な時間に *Family Guy* というアメリカのカートゥーンを Netflix で見

て、その中にあった使えそうな表現、面白い(あるいは汚い)スラングなどを、スマホにメモして、次の日に学校の人にそれら学んだ表現をぶつけてみたりもした。そしてそれがウケたり通じたりした



時の達成感は凄まじい。そうしてどんどんツールが増えていくうちに、自分の考えてることを自由に細やかに表現出来るようになり、自分がどんな性格でどんな人間なのかまでも少しずつ伝えられるようになる。日本語では決して交われない人達と互いに分かり合えた時、ほんとに嬉しくて英語はほんとに素晴らしいツールだと感じた。あの独特の感覚はカナダに来れたからこそだと思う。

何も分からない、日本語が通じない環境での不安はありつつも、カナダでの生活は幾多の出会いと機会に満ち溢れていて、短い一時ながら私の記憶の中でこれからずっと輝き続けるはずだ。そして、ただ楽しい思い出というだけでなく、それを通じて様々な学びもあり、目にしたものの全てが自分の糧になっているとも思える。最後に、カナダ留学を通して関わった全ての人、私の家族に心から感謝しています。

### カナダ留学を終えて

高校2年8組 山本怜次郎

今回自分は、三学期を日本で過ごす代わりにカナダに二か月半の間留学をしていた。二か月半という長く感じられるが、いざ留学も終わり際になると短く感じられるもので、日本に帰ってきたときはかなりあっけないんだと感じた。

そうしたカナダ留学で印象に残ったことといえば、やはり、人に優しくされたことだと思う。お



互いに知り合っていた人に優しくしてもらったことのほかに、散歩をしていた時に同じ道を二回歩いていたところ迷子になったのかと聞いてくれた(実際にはなっていなかったのだが) 見ず知らずのおじさんや、自分が学校で職員室を探していたところどこに行きたいのか聞いてくれた知らない生徒など、自分はこの留学中に本当にたくさんの人に優しくしてもらったことを覚えているし、そのように優しくされたため、今度は自分が人に優しくしたいと思えるようになった。

ほかにも、カナダに行って自分の得意、あるいは好きな分野というものについて見つけることができたと思う。自分は数学の授業を取っていたのだが、そこで特に Jack 君という友達に数学を教えていた。もちろん、すべて完璧に説明できたわけではないが、そこで感じたのは、自分は数学が好きであり得意であるということ、そして、そうい

う自分に対して少しだけ自信がついた気がする。

もちろんその間海城で受けるはずだった授業は受けられないため、その分ほかの生徒からはいろいろな面で後れを取ってしまうこととはなるが、そうした分を差し引いても今回留学に行ってもよかったと思う。



## 書き損じハガキ回収ご協力のお礼

こちらもご報告が遅れましたが、昨年12月グローバル通信82号でご協力をお願いした書き損じハガキの回収についてです。生徒諸君と先生方のご協力の御蔭で301枚のハガキを寄付することができました。主催団体のテラ・ルネッサンスより休校期間中にお礼のメッセージが届いておりましたのでご披露させていただきます。多くの方々にご協力いただき誠にありがとうございました。

### 海城中学高等学校のみなさん



書き損じはがき 301 枚  
⇒約 14,700 円分  
(147 食分の給食費)

### ご寄付をいただきありがとうございました！

いただいたご寄付は、カンボジアで地雷を取りのぞく仕事や、アフリカのウガンダやコンゴで、紛争被害者の自立支援をしているテラ・ルネッサンスの活動に使わせていただきます。

左の写真は、性的暴力を受けた女性や孤児たちを対象に、洋裁技術の訓練を行っている様子です。服を作って自分のお店を開くことで収入の安定化と自立を目指しています。

右の写真は、元子ども兵を対象とした溶接技術〈金属を加工すること〉の訓練を行っている様子です。多くの方が、子どものころには兵士として紛争の最前線で戦われるなど、壮絶な経験をしました。けれど今では、溶接のビジネスをすることで順調に収入を得ることができています。

コンゴの皆さんが、仕事を始めて新たな生活を送るために一生懸命勉強している様子が伝われば嬉しいです

こうした自立に向けた活動、成果の一つ一つは、協力してくださる皆さんの存在があってのものです。これからも「ひとり一人に未来をつくる力がある」を合い言葉に、皆さんと一緒に、より良い世界を作るために頑張っていきます

この度は学校の皆さんに呼びかけ、たくさんのご寄付をいただき、本当にありがとうございました。これからも温かく応援していただけると幸いです。



認定 NPO 法人 テラ・ルネッサンス  
地雷・子ども兵・小型武器の課題に取り組む国際協力 NPO  
600-8191 京都市下京区五条高倉角塚町 21 番地  
jimukinoueda bldg. 403 号室  
TEL : 075-741-8786  
Mail : contact@terra-r.jp URL : http://www.terra-r.jp

2020年3月2日  
特定非営利活動法人 テラ・ルネッサンス

理事長

小川真吾  
特定非営利活動法人  
テラ・ルネッサンス  
印



## 海外大学奨学金情報（高3生対象）

### 1 グルー・バンクロフト基金（給付型）

基金が指定するリベラルアーツカレッジに進学する優秀な生徒に対して奨学金が支給されます。対象大学や奨学金の金額についての詳細は以下の URL を参照して下さい。

必要書類送付9月18日（金）締め切り

[http://grew-bancroft.or.jp/dnt2/grew//access/files/3/1590647344\\_BoshuyokoFAQ2020.pdf](http://grew-bancroft.or.jp/dnt2/grew//access/files/3/1590647344_BoshuyokoFAQ2020.pdf)

希望者は7月中にグローバル教育部に申し出て下さい。

### 2 日本学生支援機構（JASSO）（貸与型）

利子付きで返済が必要になる奨学金で貸与額は月額2万円～12万円など様々なタイプがあります。保護者の家計基準などかなり複雑な仕組みになっています。提出書類も多いので詳細は HP を確認して下さい。

<https://www.jasso.go.jp/index.html>

JASSO は日本国内の大学進学予定者についての奨学金プログラムも運営していますが、日本国内の大学については高3学年の先生方か庶務渉外部安達先生（国語科）にご相談下さい。海外大学については7月中にグローバル教育部に申し出て下さい。

## 今年度もよろしくお願ひします。

ようやく今年度最初のグローバル通信をお送りすることができました。今年度も引き続きよろしくお願ひします。コロナ禍の中で特に高校1年生の生徒諸君は本校主催のアメリカ・イギリス海外研修、カナダ短期留学プログラムが軒並み中止となっししまい折角の期待に應えることができず心苦しう思っています。海外に直接行くのは難しい状況がしばらく続くことが予想されますが、次の目標を設定してそれに向けての準備を進めて下さい。私たちができる範囲でその支援をしていきたいと思っています。中学生も含めて海外大学進学やその他グローバル系のことで相談がある場合には2号館2階のグローバル教育部を訪ねて下さい。今年度も英語科岡崎（研究日・金）と山口（研究日・木）が常駐しております。昼食指導や会議等で昼休み・放課後に席を外している場合もありますが、あきらめずに何度か訪ねて下さい。